

## ハンガリーのユダヤ人

人口:80,000 人

多彩なジプシー文化の国、ハンガリーでは、ユダヤ人共同体の歴史は 11 世紀までさかのぼり、ローマ帝国の時代に端を発する可能性さえある。今日、ハンガリーのユダヤ人人口の 80%が、ヨーロッパの古都の一つであるブダペストに住む。ハンガリーのユダヤ人は、同化、そして他民族との高い結婚率に影響を受けている。ユダヤ人共同体生活に参加しているユダヤ人は、ほんの少数派である。ホロコースト生存者が占める割合は高く、約 50%が 65 歳以上と推定されている。

ユダヤ人は、この地に最初に移り住んでから 14 世紀半ばにかけて、経済的発展に重要な役割を果たし、ハンガリー社会においても高い地位についていた。しかし、それ以後、彼らの運命は暗転した。儀式殺人の冤罪で、彼らの多くは命を落とすことになったのである。16 世紀のトルコによるハンガリーの占拠は、つかの間の安堵をもたらしたが、1696 年、トルコ人が追い出された途端、迫害がまた始まった。18 世紀の終わりごろになると、ヨーゼフ皇帝の支配下で、繁栄の時代が戻ってきた。ユダヤ人は特に商業、産業、芸術そして科学の分野で、再びハンガリー社会に大いに貢献したのである。1896 年、ハンガリーでは、ユダヤ教信仰を合法化させ、キリスト教信仰と同等に扱う、と決める法律が可決された。しかし一方では同化が浸透し、ユダヤ人の一部は改宗し、あるいは自分の信仰を捨ててしまった。

第一次世界大戦以後、オーストリア・ハンガリー帝国の敗戦で、国境線が改定された。ハンガリーのユダヤ人の多くは、突然チェコスロバキアあるいはルーマニア、ユーゴスラビアという国々の国境内におさまることになったのである。1919 年、短命なハンガリー・ソビエト共和国が崩壊した後、「白色テロ」と呼ばれる時代が起こった。この間、3千人以上のユダヤ人が殺害された。1930 年代後半までには、最初の反ユダヤ主義的な法律が施行され、ユダヤ人の社会的な経済活動が制限されてしまった。

第二次世界大戦のホロコーストでは、ハンガリー本土のユダヤ人も、国土分割で引き離されたユダヤ人も、同じ運命をたどることになった。ハンガリーの 90 万人のユダヤ人のうち、実に 60 万人がナチ、あるいはハンガリーのファシスト党员の手によって虐殺された。戦後も、ハンガリーのソビエト共産主義政府は、引き続きユダヤ人を迫害した。1946 年、反ユダヤ感情により、クマダラスで起きた大虐殺がむごたらしい実例である。こうした事態がやっと改善されたのは、1950 年代、彼らが再び、外国のユダヤ人世界との接触を許されるようになった時である。共産政権崩壊後、イスラエル関連にまつわる制限が解かれた。共産政権の支配下では、多くのユダヤ人は、迫害を恐れて自分の信仰とアイデンティティを隠していた。彼らの母国語であるイディッシュ語も、めったに話されていなかった。今日では大多数がハンガリー語を話し、イディッシュ語を使うのは高齢者だけである。ハンガリーのユダヤ人には、自分のアイデンティティを表現する自由があり、現在、彼らの信仰にはさまざまな教派がある。ブダペストだけでも 20 カ所ものシナゴグや祈祷会堂が点在している。19 世紀までさかのぼる歴史をもつ、ブダペストのドハニー・シナゴグは、ヨーロッパでは最大規模である。このシナゴグの近くには「命の木」と呼ばれるエマヌエル・ホロコースト記念碑があり、その葉っぱの一つ一つがホロコーストの被害者一人ひとりを意味しているという。ブダペストではほかに、10 万人以上ものユダヤ人をナチ虐殺から救ったと言われる、スウェーデンの外交官、ラウル・ウォーレンバーグの彫像も見られる。現在、一つの団体が、ハンガリーのユダヤ人のために働いている。

ブダペストでは、1998 年の夏にメシアニック・フェスティバルが行われた。その後、一つのメシアニック・コングリゲーションの開拓と、メシアニック指導者を訓練する、聖書学校の設立が計画されている。

## 祈りの課題

☆ハンガリーのユダヤ人に非常に影響を与える、恐怖、絶望、まじない、死に立ち向かって。

☆マスコミにときどき台頭する反ユダヤ主義を、神が取り除かれるように。

☆主が、すべてのホロコースト生存者にとっていやしの香油、そして回復の源になってくださるように。

☆ハンガリーの教会に、主の愛をもってユダヤ人コミュニティーに伝道する重荷が与えられ、彼らと福音を分かち合うように。

☆ハンガリーのユダヤ人が、彼らのメシアについての黙示を受け、彼らの召しと使命を悟ることができるように。

☆ハンガリーの教会が、主とユダヤ人コミュニティーの前でへりくだり、ホロコーストで、ハンガリー人がユダヤ人に対して犯した非道を悔い改め、ユダヤ人との和平や和解の仲介者となるように。

☆メシアニック・フェスティバルでメシアを受け入れた人々のために。また、興味を示した人を導く働き手のために。そして、聖書学校に通い、力強いリーダーとなる、ユダヤ人ビリーバーのために。